

令和2年6月15日（月） 都工剣道部

都工剣道場にて。今年度最初の稽古になる。剣道場での女子連絡会終了後に入室。1年生の入部予定者4名が稽古に参加、3名が見学。冒頭、今年度の顧問の紹介、部活動実施上の注意事項・チェックリストの配布。準備体操、素振り。久々の稽古、1本1本打突慮点の手の内の冴えを大切に。足捌き、左足の引き付けの工夫を指導。面を着けて基本稽古を一緒に行いながら指導。面、小手、胴、突き、4つ全てを稽古しておくこと。突きは面・小手を受けるのと同様の感覚で受けてもらえる嫌がられない技でと。飛沫対策として面内側には下部に手拭いを畳んで装着、養生テープで留める。久々の稽古、面内側の手拭いの息苦しさ。途中で自分の足が止まってしまった。休憩を挟んで地稽古。まず通常の地稽古、続いて攻撃側と防御側を分けての地稽古。受ける練習、打突の機会、防御に徹したときには、なかなか打たれないこと。防御一辺倒の相手から一本を取る難しさ。多くのことを会得して欲しいと願って。面、続いて面・小手面の打ち込み。再度面の基本稽古、足が先、腰が先。切り返して締める。

令和2年6月16日（火） 都工剣道部

都工剣道場にて。準備体操、素振り、基本稽古を指導。昨日に引き続いて正しい基本を心がけての指導。休憩を挟んでの地稽古に加わる。自分の動きにもどかしく不満。攻守明確にしての稽古。受け方を指導。打ち込み、「正しく、大きく、力強く」に留意して。めんの基本、切り返して締める。

令和2年6月17日（水） 都工剣道部

都工剣道場にて。基本稽古から加わる。3ヶ月半の空白を取り戻したいと思いながら取り組む。休憩を挟んで地稽古を見守る。3日目の稽古で勢いを増してきた生徒に目を細めて。打ち込み、面の基本。理にかなった基本をつくりだすべく。切り返して締める。終礼で「正しく、大きく、力強く、そしてできれば素早く」と。

令和2年6月18日（木） 都工剣道部

都工剣道場にて。M君が入部、1年生部員が7名になる。準備体操の後、素振りと基本稽古の指導。休憩を挟んで地稽古に加わる。動きと観見がいい感じ。打ち込み、終わりの基本を指導。終礼で今日も「正しく、大きく、力強く」と説く。

令和2年6月18日（木） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。光崎さんと青田さんで子どもの面倒を見てくださっていた。感謝。後援会の役員さんと運営についてご相談。難題が山積。一度オールリセットの気持ちで始めたいと思う。

令和2年6月19日（金） 都工剣道部

都工剣道場にて。会議を終えて剣道場へ、ちょうど基本稽古を終えて休憩に入るところ。地稽古、30秒、1本勝負のつもりで。切り返して締める。

令和2年6月21日（日） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。一般の男性2名、女性4名、計6名による稽古。施設の指示により、大声を出さない、サイレントプレーによる稽古。準備体操、素振り。声は私の指導のみ。足捌き、送り足。面を着けて基本稽古。無言で。如何にかけ声が気力を高めて技を充実させていたかを実感。一通りの基本技。休憩を挟んで打ち込み。でも稽古をした実感は格別。

令和2年6月22日（月） 都工剣道部

都工剣道場にて。基本稽古を見守りつつ適宜メニューおよび留意点の指導を入れる。休憩時、3年生の今後の話、部室の使用について、個々に話す。地稽古に加わる。1分で全員と稽古。自分の動きへのもどかしさを感じつつ。打ち込み、終わりの基本の指導、切り返して締める。始めと終わりの礼で今後の予定の連絡。

令和2年6月23日（火） 都工剣道部

都工剣道場にて。会議を終えて道場へ。終礼にて、剣友会の援助で磯谷先生が買ってきてくださったハンドソープ石鹸2つと詰め替え用を部員に渡す。できるだけ良い環境で活動することを願って。1年生の垂れネームの注文を済ませ、道場掲示用のネームプレートを磯谷先生にお願いする。

令和2年6月24日（水） 都工剣道部

都工剣道場にて。今日も会議を終えて道場へ。地稽古の途中から加わる。打ち込み、切り返しまで続ける。明日は剣道授業担当の先生が参加される予定。終礼で、外から来られた先生にかかる心得を話す。

令和2年6月25日（木） 都工剣道部

都工剣道場にて。基本稽古を見守りつつ適宜メニューおよび留意点の指導を入れる。剣道授業担当の唐鎌先生が稽古に参加，始めの礼より参観。休憩をはさんで地稽古。2分で1周総当たり。面を着けて加わる。唐鎌先生も加わり部員に稽古。私は面を外して，自由形式で地稽古。次々に唐鎌先生に並んでかかり活況、20分ほどに。終礼後，指導を乞う部員に唐鎌先生も丁寧に応えてくださりいい雰囲気。

令和2年6月25日（木） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。仕事終えて帰路直接かけつける。松田君の指導により稽古を展開、光崎さん、菊池さん、青田さんと子ども、お母さんが加わって熱心に稽古。なかなかいい雰囲気稽古を展開。稽古再開に課題も多く、サイレントプレーで何かと稽古に制約が多く、かけ声の大事さを思い知るところではあるが、道場に灯をを点し続けたい思い。

令和2年6月26日（金） 都工剣道部

都工剣道場にて。かねての予定どおり、試合稽古を実施。手短に基本稽古の後、くじで男子はA・Bグループに分かれてリーグ戦。両グループの1位と2位で準決勝と決勝。間に女子2人の試合を行う。私自身も部員の試合を今まで見たことがなく、楽しみにしていた。終始、私が1審で。1時間半ほどの間ぶっ続けで審判を行う。自分の集中力に少し自信がつく。部員は真剣に試合、見ごたえのある試合を展開する。課題も散見される。終礼時に、「やってきたチャンスはものにする」「1年生は自分自身の気剣体の一致のバーを上げること」と指導。来るべき日が楽しみになってきた。

令和2年6月28日（日） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。私と久野君、菊池さん、青田さん、実愛と5人での稽古。始礼、準備体操、素振り。無言、私の小声の号令のみ。面を着けて基本稽古。正面、小手、胴、突き、小手面。じっくりと、しかし無言は少しもどかしい。休憩をはさんで、しばらく打ち込み、再度基本稽古、切り返して締める。途中、志賀さんが入室、終わりに殿二の連絡事項。